

ISBN4-8118-5004-1

C0037 ¥1200E

発行/ヌールエ 発売/太郎次郎社 定価/本体1200円(税別)



PowerStadium
PowerStadium

テレビゲームに飽きたら、スタジアムへ行こう！
ダイエットに挫折したら、スタジアムへ行こう！
スタープレイヤーはパワー全開。熱狂したわたしがエネルギー源！
参加型ゲーム発電所「パワースタジアム」で身も心もリフレッシュ

nurue Company

<http://nurue.com>

9784811850047

1920037012007

Animal conference
for environment

動物かんきょう会議
【エネルギー】

Vol.04 nurue

つくろうよ! 未来のエネルギー

動物かんきょう会議

日本語版 FOR ENVIRONMENT

Aroma conference

人間でダメなら動物になって考えよう

動物会議に参加しよう！
<http://i-debut.jp/animals>

エネルギーのムダづかい
節約すればそれで解決？

VOL.04



バイオのとある森の中

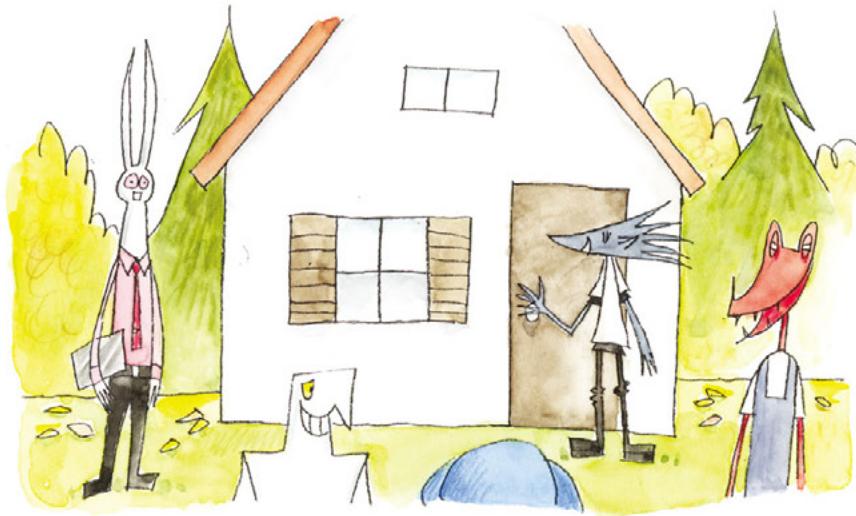
今、この森に、世界の国々から動物たちが集まっています。



「うーっ ぶるぶるっ 寒いっ！」
ワニールが身ぶるいをしました。
ひゅーっと冷たい風が吹いて、
森の木々からたくさん木の葉が舞い落ちています。
「さ、さむくて会議どころじゃないわ」
ゾウママも長い鼻を首に巻きつけ、ふるえています。



これを見ていたハリィが
「たしかに冷えますね。それではみなさん。
ぼくの家に行きましょうか。ここからすぐですよ」
と立ちあがると
「コホッ。妙案ですな。
ついでに熱いアフタヌーンティーでもいただければ・・・」
と、Dr.ラビが鼻をひくひくさせました。



というわけで・・・

動物たちがぞろぞろとハリィの家にやってきたのです。

「さあ、ここですよ。みなさん、どうぞおはいりください」

ドアの鍵をあけたハリィは、動物たちを部屋のなかへと案内しました。

ジロジロと玄関から廊下とながめまわしていたワシが、

「なんだかうす暗い家だぜ。部屋のあかりのスイッチはこれかい？」

と言って、壁にあるスイッチをパチッとつけてみました。

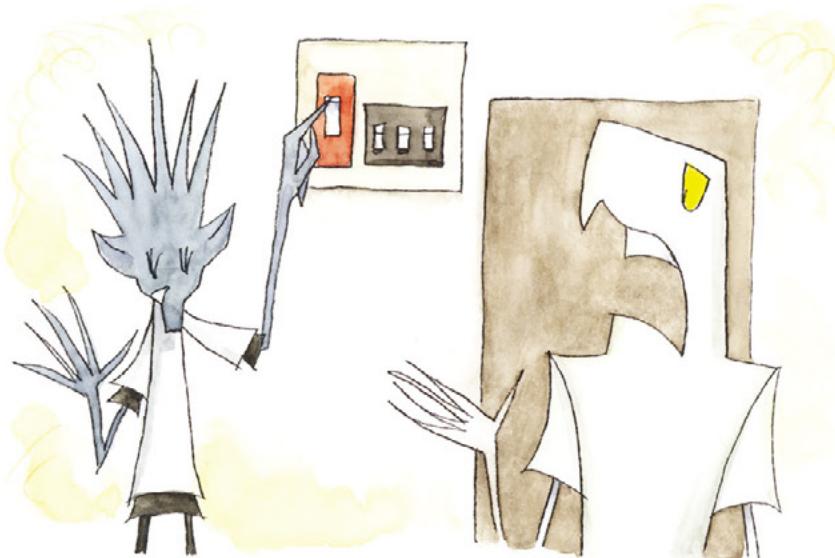
しかし、電灯はつきません。

「あれっ？ つかないぜ。停電かあ？」

ワシは何度もスイッチをパチンパチンと上げ下げしています。



すると、ハリイが笑いながら
「まあまあ、あわてない。あわてない。
まずブレーカーをいれなくちゃ」
といって、ブレーカーをオンにしたのでした。



「えーっ！ ブレーカーきってるのかよ。
なんだってそんなことするんだあ？」
ワッシはびっくりして大声をはりあげました。
ハリイはワッシには答えず、部屋のすみに腰をおろそうとしているタックに
「すまないけどそこのプラグもさしこんぐくれるかい」
と頼んだのです。

タックがふりむくと、コンセントのさしこみ口のまわりには、
ひきぬかれたままの何本ものプラグがあります。
「あれえっ。冷蔵庫もテレビも、電気コンロまでプラグが
ぬいてあるよ」
タックはびっくりしています。



ところがハリィは

「なにおどろいてるの？ 家をあけてたんだもの、

ブレーカーをきつていいくのあたりまえでしょ」

と平然としているではありませんか。

さて、困ってしまったタック。

「えっ？ あたりまえっていわれても・・・

ボ、ボク、外出するときブレーカーなんてきらないよ」

今度はハリィがびっくりする番です。

「本当？ ぼくは、毎晩、寝る前にもプラグをぬいでいるんだよ」



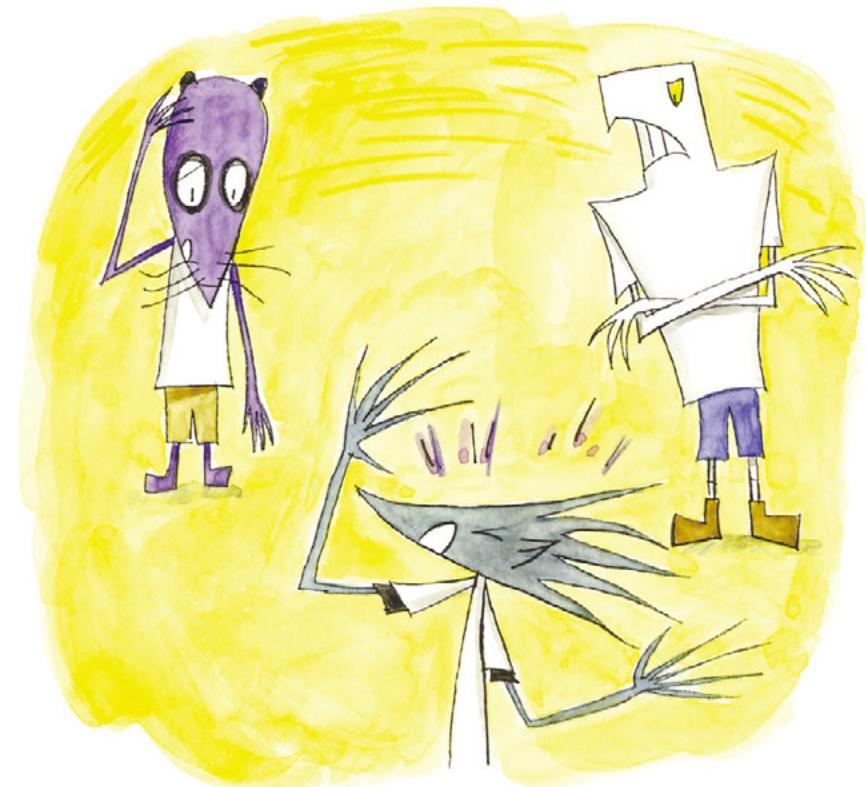
ワッシが不思議そうに首をかしげています。

「オイッ、ハリィ。ブレーカーきつたり、プラグぬいたり、

おまえ、いったいなんでそんなことやってんの？」

これを聞いたハリィはあきれ顔で天井をあおいたのでした。

「もうっ！ きみたちなんにも知らないんだからあっ！」



「コホン。それはですね、いくら電気製品のスイッチをきつてもプラグをさしこんだままですと、電気はどんどん使われていってしまうんですね」

と、Dr.ラビが物知り顔で説明をはじめましたが、
そんなことははじめて聞いたタック。

「えーっ！！ ボク全然知らなかったよーっ！！」
と、両手で口をおおいました。



ワシにとってもそれは全くの初耳だったのですが・・・
「だからっていちいちプラグなんかぬいていられるかよ。
めんどくさい！」
と言ひはなってそっぽをむいています。

Dr.ラビが大きな図を広げました。

「コホッ。ちなみにですね。このようにさしこまれたままの
プラグを通して消費されるエネルギーを『待機電力』とい
いまして。ハイッ。家庭で1年間に消費される全電力量の
約15%を占めています。」

「なんてもったいない・・・」

誰からともなくため息がもれました。

